

- 調査期間** 2015年7月1日～継続中
- 所在地** 伊勢原市上粕屋
- 時代** 近世、中世、奈良・平安、弥生、縄文
- 調査原因** 国土交通省による厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3km、大山東南麓に広がる台地上に位置する。



主な調査成果

谷に面する斜面中段の平場は、1707(宝永四)年の宝永大噴火により降り積もった火山灰で覆われていたため、噴火以前に造成されていたことが分かりました。そこからは堅い路面を持った道路が見つかりました。道路幅は片側が後世に壊されて不明ですが、北西-南東方向へ伸びています。

台地上面では奈良・平安時代の円形土坑29基と弥生時代の竪穴住居1軒、土坑1基が見つかりました。縄文時代の竪穴住居は斜面裾近くで2軒、台地上面で3軒見つかり、うち2軒は柄鏡型で敷石を伴います。この他に土坑3基、落とし穴1基、集石1基、配石1基、埋甕2基が見つかり、石棒や土偶の脚、有舌尖頭器も出土しました。時期別に見ると縄文時代後期が主体となるようです。



道路遺構(中・近世)



J2号竪穴住居(縄文時代)